



こんにちは!

気象庁です!

7月号

平成25年
(2013年)

「こんにちは！天気相談所です！」 ～第2回「☀️お日様マークだけなのに雲が出てるんですけど～」

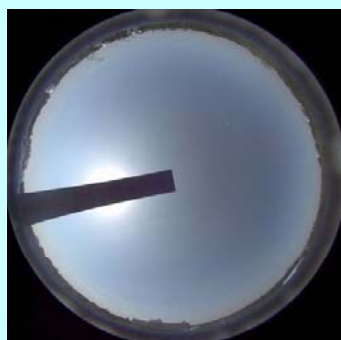


こんにちは、はれるんです。ずっと前から天気相談所の窓口に座っています。天気相談所には毎日いっぱいお電話がかかってくるけど同じようなご質問も多いみたい。今日も「晴れの予報なのに雲が出てる！」ってお電話がきたよ。ちょっと天気相談所の人に聞いてみよう……。

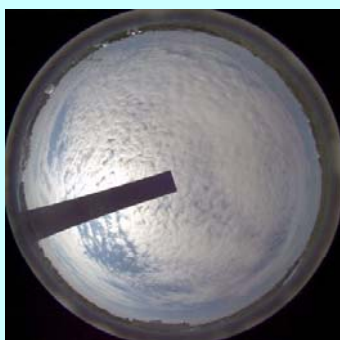
「今日の予報、テレビではお日様マーク☀️なのに、こんなに雲が出てるじゃない!？」天気相談所では、このようなお電話をいただくことがよくあります。「晴れ」の予報の場合、テレビや気象庁のホームページでもお日様マーク☀️しか出ません。ところが気象庁の予報でいう「晴れ」は、雲がある程度出る場合も含まれます。詳しく説明すると、空全体に対する雲の広がりが8割以下の場合には「晴れ」として扱っています。また、雲の広がりが9割以上あっても、上空の薄い雲が大半で陽差しにより物の影ができる時を「薄曇り」といって、これも「晴れ」に含みます。このように、雲が多く出る場合も「晴れ」と予報しています。

下の全天写真は全部、天気予報では「晴れ」としている状態の例です。
(黒い棒は太陽を隠すためのものです)。

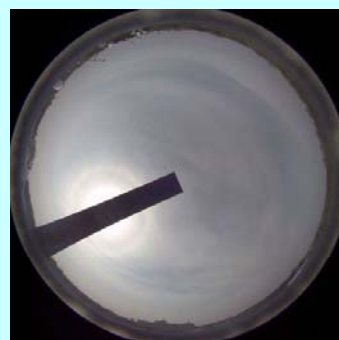
空全体に対する雲の広がり



なし



8割



薄曇り

皆さまの周りに気象庁の天気予報の「晴れ」とは雲がちょっとしかないことだ、と思っている方がおられれば、予報の「晴れ」は少し違うんだよ、と伝えていただくと助かります。



8月の気象

～気象ドップラーレーダーの全国整備完了～

気象庁では、平成18年3月の東京レーダーを皮切りに、順次、全国20ヶ所の気象レーダーを気象ドップラーレーダーに更新してきました。平成24年度には、長野、静岡及び名瀬に気象ドップラーレーダーを更新整備し、全国をカバーする気象ドップラーレーダー観測網が完成しました。

気象ドップラーレーダー観測網

気象ドップラーレーダーは、従来の気象レーダーが持つ降水の強さや分布を観測する機能に加えて、電波のドップラー効果を利用して雨や雪の動きを捉えることによって、集中豪雨や竜巻などの突風をもたらす積乱雲内部の風の向きや強さを立体的に観測することができます。

気象ドップラーレーダーの風の観測データは数値予測モデルの基礎データとして利用されており、きめ細やかな降水の監視・予測に役立っています。気象庁では、引き続き、観測データ処理の高度化を図りつつ「降水ナウキャスト」などの気象情報のさらなる精緻化と精度向上を目指します。



気象ドップラーレーダー観測網



気象ドップラーレーダー観測網
(左)長野レーダー(中)静岡レーダー(右)名瀬レーダー

(次ページにつづく)

○竜巻等突風への対応

気象ドップラーレーダーに更新することで、雨雲内部の風を三次元的に観測できるようになり、竜巻等突風に対する監視・予測機能が大幅に強化されました。

竜巻の直径は数十メートルから数百メートルととても小さいため、気象ドップラーレーダーでも竜巻そのものを直接観測することはできませんが、竜巻の親雲となる積乱雲の中の回転(直径数キロメートルから十キロメートル程度)は検出できる場合があります、これをメソサイクロンと呼んでいます。気象庁では、気象ドップラーレーダーによる雨及び風に関する三次元情報やメソサイクロンの検出結果に加えて、数値予報データなどを利用することで、竜巻発生確度ナウキャスト※¹や竜巻注意情報※²を公表しています。

もし、竜巻注意情報が発表された場合には、気象庁のホームページなどでレーダー画像やナウキャストの情報を確認し、①真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる、②雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする、③ヒヤッとした冷たい風が吹き出す、④大粒の雨や「ひょう」が降り出すなど、「発達した積乱雲の近づく兆し」を察知した場合には、付近の頑丈な建物に避難するなど身の安全を確保してください。

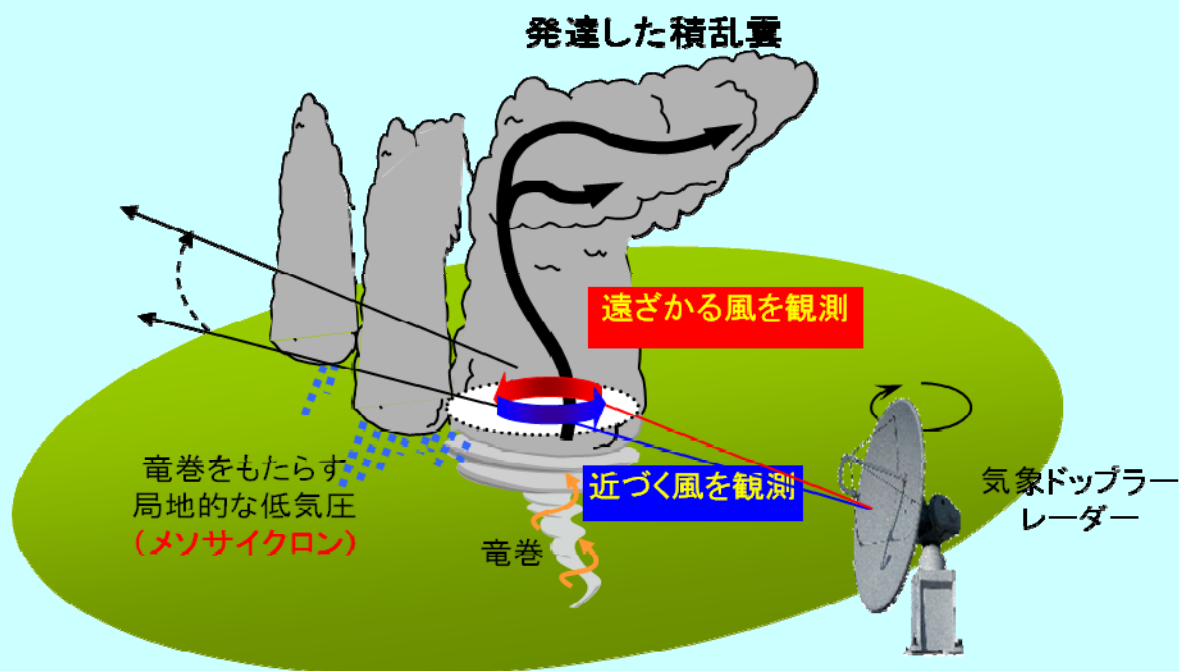


図 気象ドップラーレーダーによるメソサイクロン検出の概念図

※¹ 竜巻発生確度ナウキャストは、竜巻の発生確度を10km格子単位で解析し、その1時間後(10～60分先)までの予測を行うもので、10分ごとに更新して提供します。

○最新の「竜巻発生確度ナウキャスト」

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/index.html?areaCode=000&contentType=2>

※² 竜巻注意情報は、積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける情報で、雷注意報を補足する情報として、各地の气象台等が担当地域(概ね一つの県)を対象に発表します。有効期間を発表から1時間としています。注意すべき状況が続く場合には、竜巻注意情報を再度発表します。

○最新の「竜巻注意情報」

<http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>